

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会		主 査 名：中村 充 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強震観測の実施、データの収集・整理、分析、および被害把握・災害対応への応用に関する検討 (2015～18)</li> <li>・観測記録に基づく建物・地盤の地震応答に関する現象解明 (2015～18)</li> <li>・上記を推進するための環境整備、資料収集整備、普及啓発 (2015～18)</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：中村充 (大林組) 幹事：植竹富一 (東京電力)、大野晋 (東北大学) 委員：相澤幸治 (気象庁)、赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)、池浦友則 (鹿島建設)、鹿嶋俊英 (建築研究所)、功刀卓 (防災科学技術研究所)、猿田正明 (清水建設)、重藤迪子 (九州大学)、高井伸雄 (北海道大学)、飛田潤 (名古屋大学)、三浦弘之 (広島大学)、山本優 (大成建設)、吉田治雄 (竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)	<b>強震観測成果普及展開 WG</b> ：これまでの活動成果をもとに構築・整備を進めている「強震観測アーカイブ」などに基づいて、建築技術者・研究者および学生・一般等の多様な対象に向けた強震観測成果の普及に資する実際的な方法の展開を行う。		
2017年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aij/">http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aij/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会・WG 等において、各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向などに関する情報交換と検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。 2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「国内強震観測台帳」の拡充を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用方法について議論を深めた。また、過去に開催した強震観測シンポジウム資料のアーカイブ化を進めた。 3. これらの成果を HP を中心として公開し、普及展開に努めた。
委員会活動の問題点・課題	1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み 2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携